

2021年2月25日
新日本電工株式会社
中央電気工業株式会社

中央電気工業(株)における焼却灰4号溶融炉（EM4）の増設について

新日本電工株式会社及びその子会社である中央電気工業株式会社（茨城県鹿嶋市、以下中央電気工業）は、4つのコア事業の1つである環境事業の拡大を目的に、4基目となる焼却灰4号溶融炉（EM4）の増設計画を実行に移すことを決定いたしました。

中央電気工業は、50年以上にわたり培った電気炉操業技術を活かし、1995年に民間企業として初めて自治体から発生する焼却灰の溶融固化処理事業を開始しました。その後、焼却灰の埋立て処分場の残余埋立て可能量が減少し、新たな処分場の建設も難しいという環境の中、事業規模を順調に拡大させ、現在では3炉体制で東京都23区をはじめとする関東地区を中心に、年間10万トン規模の焼却灰リサイクル（徐冷スラグ化等）を行っています。本焼却灰溶融固化処理プロセスは、その過程で発生する徐冷スラグを路盤材などの石材代替資源として、また金や銀などを含む溶融メタルを貴金属資源として再資源化するなど、焼却灰をすべて有価な資源として再利用し、焼却灰の処分場を不要とするパーフェクトリサイクルを特長としています*。

新日本電工グループは、今後も環境負荷の低い、地球にやさしいリサイクル事業を通じて持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

※別紙参照

焼却灰溶融炉建屋（同建屋内に増設）



設備投資額：約19億円
焼却灰処理能力：約35,000トン/年
増設工事着工：2021年4月
営業運転開始：2022年11月予定

<本件に関するお問い合わせ先>

新日本電工株式会社 総務部
電話：03-6860-6800

以上

焼却灰溶融固化処理フロー

